さがみはら産業創造センター 編集・発行

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 ― 地域版 ―

発行 No. 46
発行日 ： 2016年 11月15日(火)

地域企業紹介 その 46

株式会社 KYOEI

自動車産業の発展を支える不可欠なプレーヤー

自動車プレス部品用検査治具を製造する株式会社KYOEIの高崎将二代表取締役社長を神奈川県綾瀬市にある本社工場に訪ねました。

自動車のドアやボンネットなど金属でできている自動車部品のほとんどはプレス加工で作られている。KYOEIが製造する検査治具はそうした部品が設計どおりに仕上がっているかを検査するために使われる立体的な物差しのようなもの。重ね合わせるようにして、寸法や穴の位置などが正しいかを確認する。素材は特殊な樹脂や金属。自動車部品メーカーから部品の設計データを入手し、そのデータを加工して検査治具を製作し、自動車部品メーカーに納入する。自動車部品メーカーはその治具を使って製造された部品が設計図どおりに仕上がっているかを検査する。こうした手順で検査治具は使われる。誤差０．１㎜以内の正確さを求められる部品メーカーにとって精度の高い検査治具は無くてはならないもの。地味であまり知られていないが、我が国自動車産業の発展を支えてきた不可欠なプレーヤーの一員なのだ。

検査治具を製作している専業メーカーは全国でも３０～４０社あるが同社はドア、ルーフ、ボンネットなどの大型部品に使われる検査治具を得意としている。短納期にも対応できる体制が整っていることもあって５０社を超える自動車部品メーカーと取引がある。そして、同社の検査治具の７０%以上が日本企業の海外工場で使われている。

（2面につづく）

株式会社KYOEI
代表取締役　高崎　将二（たかさき　しょうじ）
所在地　：神奈川県綾瀬市吉岡東４－２－１１
従業員数：30名　売上高：3.8億円
事業内容：自動車等金属プレス部品・樹脂成形部品用検査治具・組立、矯正治具設計～製作、治具改修・メンテナンス・修理業務、金属部品加工全般（旋盤、フライス、レーザー加工等）

（表面からつづく）

同社の前身は高崎さんの祖父が川崎市で始めた木型製造の会社。その後、父親が後を継ぎ、金型製造などのいろいろな仕事を手掛けるようになり、１９７０年には綾瀬市に移転している。高崎さんは先代社長の次男として生まれたが家業があまり好きになれず、学校卒業後は実家を出て都内で飲食業に就く。将来は自分の店を待ちたいと思っていたそうだが２３歳の時、父親に呼び戻され、KYOEIに入社する。入社直後は製造の現場に、４年目から営業に回り、その２年後には主要な取引先だった大手自動車部品メーカーに１年間出向している。

KYOEIしか知らなかった高崎さんにとって大手自動車部品メーカーの生産技術部での経験はとても貴重で、いろいろな人に出会ったことでネットワークもできたし、自社の仕事を見つめ直すこともできた。その頃のKYOEIは自動車部品の試作、少量生産、検査治具を製造する従業員１０名の小さな下請け工場。生き残るためのKYOEIにしかできない仕事は何か、KYOEIに望まれている役割は何かということに気づかされたという。

会社に戻った高崎さんは今ある設備と人材を活かし、少しずつ検査治具専業メーカーへと舵を切っていく。そんな中、父親が６１歳の若さで突然亡くなり社長に就任する。工場の移転拡張の時期とも重なり、土地の取得、新工場建設、銀行との交渉、そして総務、財務といった経営全般を担うことになる。「とにかく遮二無二に突っ走りながら、短期間で経営の勉強をさせてもらいました」と当時を振り返る。

今、高崎社長が力を入れていることは二つ。一つは同じ悩みを持つ同業者が集まり「検具.net」という企業間ネットワークを作ったこと。関東、東海、中国、九州地方から１３社が、韓国・中国から７社の企業が集まった。活動を始めて５年、情報共有や技能向上のために韓国、中国でも研修会を開いた。そして、海外や地方に移転した自動車部品メーカーの工場が検査治具をスピーディーに調達できるように「検具.net」の会員企業が相互補完する共同受注のような取り組みを始めている。同時に海外や地方での検査治具メーカーの立ち上げ支援も行っている。二つ目は３Dプリンターを使った治具の製造だ。自動車メーカーは世界的な競争に常にさらされている。部品メーカーも同様だ。日本の企業が作る検査治具の精度やコストパフォーマンスの高さが再評価されてはいるが、コストダウンの要求は続く。高崎さんも今の製造方法でその要求に応えることには限界があると感じ始めている。検査治具の製造に革命をもたらす高崎さんの挑戦が始まろうとしている。

入居企業紹介
50

熱意を尽くし、誠意を尽くし、創意を尽くし、情報処理産業の一旦を支援する

株式会社テクニカルエンジニアリングサポート

ソフトウェア開発とシステム構築を主に行っている株式会社テクニカルエンジニアリングサポートの山崎社長にお話を伺いました。

当社は、主にＷｅｂシステム開発、システム構築、システム運用を行っています。依頼頂いた内容に応じて、外部パッケージを取り入れたり、基本ソフトを選別したりすることで、ニーズの最適解を得られるようなソリューションを提供しています。

このようなソリューションを提供するためには、顧客と直接接する、社員一人一人の特長を理解し、持てる力を最大限に発揮できるような仕組みが必要だと考えています。そのために、社員の適性に合わせた人材管理育成ができる指導履歴作成機能付きの労務管理システム（ＥＩＭＳ）を開発し、人材育成が充分に行えない中小企業向けに販売しております。

また、相模原にある会社として、今まで以上に地域の企業との関りを深める必要があると考え、地域企業向けに、サーバーの設置・入替、クライアントＰＣの選別などから簡単なＰＣトラブルまで対応する、「ＩＴサポート支援」事業を始めました。

これらの事業を展開するうえで、大事なことは技術力に裏打ちされたサービス力が必要だと考えています。現在社内では、主に土曜日に社員同士が有志で勉強会を開催し、研鑽しながら技術の向上に取組んでいます。普段離れた場所で仕事をしている社員も多い中、顔を合わせて各々の状況を確認しつつ、現場では得られない技術や情報に触れる機会を持ち、結果として帰属意識を高める場となり、「人材育成」「サービス力向上」の重要なファクターとなっています。

お客様が必要なもの＝（イコール）いいものである、ということを前提に、社員からの提案を引き出し、よければ会社はリスクを負う覚悟で受け入れ、やる気と自ら動く自主性を育てています。また、同時に常に危機意識とベンチャー精神を忘れない経営に取り組んでいます。

今後は、ソフトウェア開発に留まらず、サービス業として他業種ともコラボレーションをしながら製品（ハード）の開発、販売や、ソフトウェア以外のサービスに取り組んでみたいと思います。

株式会社テクニカルエンジニアリングサポート
SIC-2　701号室
TEL：042-770-9877
URL: http://www.tes.co.jp/

SAGAMIHARA+DESIGN

VOL 4

企業と地域と学生と、デザインのあるカタチ

美術デザイン系大学が集積する相模原市・橋本の特徴を生かし、クリエイティブの力で地域を盛り上げようと、相模原周辺エリアで活動する多摩美術大学卒業生が中心となって、昨年、「橋本デザイン会議」が発足しました。「橋本デザイン会議」は、さがみはらエリアの企業と発表の場を求めているクリエイターとの出会いの場を設け、地域のビジネスを活性化させる有効な切り札としてクリエイティブの力を紹介する活動を目指しています。企業の特徴や悩みから、「デザイン」で解決するテーマを設定し、学生クリエイターから多様なアイデアを募りました。募ったのは「さがみはらエリア」の5つの企業。事業の発展を目指して託したテーマとその受賞作品をご紹介します。第四回は、2016年3月に表彰式を行ったHDMバイタリゼーションデザインアワードから、クラフト株式会社です。

テーマ

社員間コミュニケーションのデザイン

コミュニケーションをもっと活発にするモノやコトのデザイン

クラフトの経営理念「明るく元気に、楽しく仲良く」のもと社員同士の交流の場として、毎日「コーヒーブレイク」の時間を設けています。この「コーヒーブレイク」の時間を、もっと楽しむような仕掛けや仕組み、社員同士のコミュニケーションを深めるためのアイデア(企画)やツール、デザインを募集しました。

企業紹介・テーマ募集動画
(募集は締め切りました)

制作者：増永 圭太（倉敷芸術科学大学）

笑顔の手渡しコーヒー「コボレ」

学生プレゼンテーション動画

学生クリエイターからのコメント（制作意図）

一人で複数人分の飲み物を運べるコップのプロダクトと、その造形からうまれるこぼれそうでこぼれないコーヒーの受け渡しによるコミュニケーションを提案。

テーマ主題企業から、作品へコメント

社員同士の交流というテーマに対して、コミュニケーションの始まりをデザインする、という試みの発想が面白い着眼点だと思います。プレゼン時に、実際の製品プロトタイプを作ってきた熱意にも驚かされました。

コーディネーターからのコメント

「コーヒーをこぼさないように気をつける瞬間」をデザインの対象とした着眼点がユニークでした。「おっとっと」と思わずこぼれる笑顔から緩やかなコミュニケーションが始まることが想像できます。「社員間のコミュニケーションのデザイン」という目に見えないテーマがデザインの対象だった中、見事な課題設定と発想で最優秀賞となりました。

（小崎 直利 デザイナー）

テーマ出題企業：クラフト株式会社

1974年相模原にて創業開始。ステンレスなどの表面のキズを防ぐために間に挟む金属合紙を扱っています。相模原本社、安城支店 の他、国外には台湾支店の3拠点をもち、「巻く」「切る」「つなぐ」の3つの技術を生かした金属合紙の販売やリユースを行っ ています。

代表者：取締役社長　阿部 祐爾
所在地：〒252-0132神奈川県相模原市緑区橋本台3-14-24
http://www.c-craft.co.jp/

愉酒季寄（ゆしゅきよせ）　そば 山科

西橋本のお隣、二本松にある手打蕎麦の「山科」さんをご紹介します。2代目の竹澤さんは、蕎麦一筋三十数年、とても気持ちのいいご主人です。北海道産の蕎麦粉で打った二八蕎麦をランチ「喬愉セット」で美味しくいただきました。蕎麦だけではありません。夜は美味しい焼酎、日本酒、ワインそして専用のグラスで飲むベルギービールなど数多く揃っていて、お酒に合ったお料理も幅広くいただける隠れ家のような蕎麦屋さんです。これからは、旬の期間限定「桜海老」と「穴子」がおすすめです。そして締めは蕎麦と蕎麦湯を忘れずに！個室もあります！(荻島)

相模原市緑区二本松1-11-7　電話：042-815-0847
営業時間：ランチ 11:00-14:30　ディナー 17:00-22:00（ラストオーダー21:30）
定休日：毎週月曜日/隔週で二連休あり　HPは、愉酒季寄（ゆしゅきよせ）をローマ字 “Yushukiyose” で検索！

ランチ「喬愉セット」だし巻き卵もおいし〜！ 880円

SIC 食のさんぽ道

ご主人の竹澤裕進さん

お店の入り口

SIC-1の入居企業を募集しています！

SICでは、創業5年以内の個人または中小企業の方、新分野進出を目指す中小企業の入居を募集しています。橋本のSIC-1での事業活動を、ぜひ一度、ご検討ください。

セミラボ

実験、評価、分析などのウェットラボとして、設計、試作など研究開発ラボとして、目的に合わせお使いいただけます。

床面積　：47.3㎡と35.5㎡の2タイプ
床仕様　：エポキシ樹脂系の塗床
電気設備：単相100v電源、単相200v電源、三相200v電源
給排水設備：業務用給排水、流し台
共用設備：会議室、応接室、休憩室

スモールオフィス

数名での事業活動に最適なオフィスとしてお使いいただけます。

床面積　：17.3㎡
床仕様　：タイルカーペット貼
電気設備：単相100v電源
共用設備：会議室、応接室、休憩室

2016.11 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

- １１月１８日(金) 経営者セミナー
- １１月２２日(火) 事業承継連続セミナー(第３回)
- １１月２５日(金) 南西フォーラム分科会　第３回 iPS細胞ビジネス分科会
- １２月５日(月)　入居者交流会

お電話をいただければ、担当がご説明にうかがいます。
お問い合わせ先：総務部 大谷・稲垣 **Tel.042-770-9119**

※入居にあたり事業内容等の審査があります。
※契約は定期建物賃貸借契約です。※商業地域のため工場利用はできません。

knock! knock! 入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (2016年11月10日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

	部　屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1	○スモールオフィスB(17.3㎡)	1	47,600円
	△セミラボA(47.3㎡) 12月中旬以降入居可能です。	1	149,600円
	△セミラボA(47.3㎡) 2017年1月以降入居可能です。	1	149,600円
	△セミラボB(35.5㎡) 2017年1月以降入居可能です。	1	98,400円
	△セミラボB(35.5㎡) 2017年3月以降入居可能です。	1	98,400円
SIC-2	空室はありません	-	-
SIC-3	空室はありません	-	-

詳しくは、SICホームページをご覧ください。
http://www.sic-sagamihara.jp

編集後記

平成２８年最後の「ＳＩＣかわらばん」です。皆様、年末年始の準備は万端でしょうか？ＳＩＣでは、１年のホコリを落とし、気持よく新しい年を迎える年末恒例の大掃除を今年もやります。頑張っただけ福はきっと来ます！さて、ＳＩＣの年末年始のお休みは、12月29日(木)～平成29年1月3日(火)までとなっています。ＳＩＣかわらばん(地域版)の創刊から9年目を迎える次号第47号は、1月13日(金)発行を予定しています。それでは皆さま、良いお年をお迎えください。

SAGAMIHARA INCUBATION CENTER
(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト http://www.sic-sagamihara.jp/

デザイン TRIAND Inc.